

宇佐産業科学高校



東九州短期大学の先生方が宇佐産業科学高校生活デザイン科2年生に、2日間にわたり出前講座を実施してくださいました。

「保育リズムの基礎講座」

講師：東九州短期大学 尾家先生

R6.6.5(水)

～幼児期の「遊び」とは？～

幼児期の生活のほとんどは、遊びによって占められています。遊びには成長や発達のための重要な体験が多く含まれています。感性や表現力を豊かに育まれるよう、保育者は共感をもって受け止めます。



ミュージックパネル 「ふしぎなたまご」

パネルボードに絵人形を貼ったり、外したりしながら、歌やお話を演じました。



PICKUP



尾家先生は「子どもたちは、かわいいですよ。子どもから笑顔をもらって、先生も素敵な笑顔で返します。」とお話されていました。

「保育者ってどんな仕事？」

講師：東九州短期大学 江玉先生

R6.6.12(水)

絵本の読み聞かせやお絵描きなどの事例を交え、保育者の「環境づくり」について学びました。



江玉先生は「保育の仕事の魅力は、こどもの育ちに関わり、初めて立つ、歩く、声を発するなどの姿をそばで見ることができること、そして、その喜びをこどもと、保護者と、園の先生と共有することができることです。」とお話されていました。



PICKUP

保育者の役割とは…？

こどもは遊びを通して発達する



こどもの発達のために、こどもが自分からやってみたり、挑戦したりしながら遊ぶことができる「環境」をつくること